

学年:	3年生	Stage:	Stage II	コード:	O3202	単位:	3.4
モジュール名	保存修復学			科目担当責任者	向井 義晴		
モジュール名(英字)	Cariology and Operative Dentistry			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	歯の硬組織疾患や形態異常に対して、正確な診断を施し、多様な修復法の原則と治療法から術後管理に至る一連の臨床術式を習得することで、歯質を可及的に保存し機能回復を図ることが歯科医学上極めて重要であることを理解する。						
ユニット:一般目標	<p>1. 硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質 齶蝕をはじめとする硬組織疾患について、好発部位、病因、病態、症状を理解するとともに、保存修復の種類、材料の一般的性質を理解する。</p> <p>2. 硬組織疾患の処置 歯の硬組織疾患に対して、臨床的立場から、その検査法、診断法を理解するとともに、齶蝕の処置法を理解する。</p> <p>3. 切削、窩洞 切削器具の特徴と使用方法ならびに窩洞形態の原則を理解する。</p> <p>4. 修復治療の留意点 象牙質・歯髄の保護、修復治療の前準備・補助法ならびに修復物の具備すべき形状と面の性質を理解する。</p> <p>5. コンポジットレジン修復 コンポジットレジンならびに接着システムの特徴と臨床術式を理解する。</p> <p>6. 金属・セラミックとの接着、グラスアイオノマーセメント修復 金属やセラミックへの接着手法を理解する。グラスアイオノマーセメントの特徴、接着機構を理解する。</p> <p>7. 間接修復 メタル、コンポジット、セラミックを用いた間接修復法において、窩洞の特徴、適応症、製作法、装着術式の違いを、理解するとともに、合着、接着材の所要性質、使用方法を理解する。</p> <p>8. 変色歯の処置、治療計画、アマルガム修復 無髄歯、有髄歯の漂白法の漂白機序、適応症、漂白術式を理解する。保存修復治療計画を理解する。アマルガム修復法を理解する。</p>						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP3
	- / - / -	- / b / -	a / a / a		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 保存修復学 第7版/ 千田 彰, 向井 義晴 他編/ 医歯薬出版株式会社
 教 2/ 保存修復学実習プリント/ / 神奈川歯科大学保存修復学
 教 3/ 実践2027保存修復/ 麻布デンタルアカデミー/ 麻布デンタルアカデミー
 参 1/ 保存修復学21 第6版/ 田上 順次 他編/ 永末書店
 参 2/ う蝕治療ガイドライン 第2版/ 日本歯科保存学会 編/ 永末書店

評価方法

出 欠 席	履修ガイド2026年度版に準拠します。全て出席することが必要である。万が一、実習を欠席した場合は、理由如何に問わず実習担当者に速やかに連絡を取り対応を求めること。実習内容や履修状況ならびに欠席理由によっては、実習の補完を行わない。またそれにより生じたGP不足に対するアクティビティ再評価は実施しないことがある。						
モジュール試験(%)	55						
アクティビティ(%)	45						
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
		15	30				
再試験の評価方法	モジュールGPおよびモジュール試験の合格パターンにより、再試験、追加履修の両方もしくはいずれか一方により評価する。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_001_6/8_1限	2026/06/08	1		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	歯の機能と加齢に伴う変化					
授業目標	1) 歯の構造と機能が説明できる。 2) 硬組織の加齢による変化が説明できる。					
キーワード	エナメル質、象牙質、セメント質、象牙質・歯髄複合体、歯質の物理・機械的性状、加齢変化					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P6-13 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_002_6/8_2限	2026/06/08	2		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	硬組織疾患、歯の発育異常および関連疾患－齲蝕－					
授業目標	1) 齲蝕の病因論を説明できる。 2) 齲蝕の特徴を説明できる。 3) 齲蝕病巣の進行を説明できる。 4) 齲蝕病巣の構造を説明できる。					
キーワード	齲蝕の好発年齢・性、齲蝕の好発部位、齲蝕原因菌、バイオフィルム、脱灰・再石灰化、齲蝕リスク、エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、急性齲蝕、慢性齲蝕					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P14-27 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_003_6/8_3限	2026/06/08	3		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	硬組織疾患、歯の発育異常および関連疾患－非齲蝕性硬組織疾患、変色歯、象牙質知覚過敏症－					
授業目標	1) 非齲蝕性硬組織疾患を説明できる。 2) 変色歯を説明できる。 3) 象牙質知覚過敏症を説明できる。					
キーワード	tooth wear(歯の損耗)、摩耗、くさび状欠損、咬耗、酸蝕、破折・亀裂、形成不全、形態・歯数の異常、象牙質知覚過敏					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P27-37 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O3202_004_6/8_4限	2026/06/08	4		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	保存修復の種類、材料の一般的性質					
授業目標	1) 保存修復の種類を説明できる。 2) 修復材料の性質を説明できる 3) 合着材、接着材の性質を説明できる。 4) 裏層材、覆髄材の性質を説明できる。					
キーワード	修復材料、合着材、接着材、裏層材、覆髄材					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P1-5 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_005_6/9_1限	2026/06/09	1		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	検査					
授業目標	1) 齲蝕の検査法を説明できる。					
キーワード	視診、触診、エックス線診、打診、動揺度検査、透照診、温度診、インピーダンス測定、歯髄電気診、レーザー診、QLF法、OCT法、麻酔診、切削診、咬合検査、模型検査、齲蝕リスク検査					
担当	國松 雄一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P56-64 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_006_6/9_2限	2026/06/09	2		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質					
サブユニット	硬組織疾患の概念、MID、再石灰化					
授業目標	1) 硬組織疾患の概念、MID、再石灰化を説明できる。					
キーワード	Minimal intervention dentistry(MID)、再石灰化					
担当	小浦 裕菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P65-70 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5,D-5-2-1-2					
国試出題基準(令和5年)	必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅵ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_007_6/9_3限	2026/06/09	3		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患の処置					
サブユニット	齲蝕の処置					

授業目標	1) エナメル質齲蝕の処置(MI、再石灰化を含む)を説明できる。 2) 象牙質齲蝕の処置を説明できる。 3) 根面齲蝕の処置を説明できる。
キーワード	急性齲蝕、慢性齲蝕、齲蝕病巣の処置
担当	小浦 裕菜
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P71-79 配布プリント
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3
国試出題基準(令和5年)	必修8-イ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-イ-b,各論Ⅱ-1-オ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_008_6/9_4限	2026/06/09	4		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患の処置					
サブユニット	tooth wear、変色歯、象牙質知覚過敏の処置、形態異常の処置					
授業目標	1) tooth wear(歯の損耗)の処置を説明できる。 2) 変色歯の処置を説明できる。 3) 象牙質知覚過敏の処置を説明できる。 4) 形態異常の処置を説明できる。					
キーワード	tooth wear(歯の損耗)の処置、変色歯の処置、象牙質知覚過敏の処置法、形態異常の処置法					
担当	小浦 裕菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P79-97 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修8-イ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-イ-b,各論Ⅱ-1-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_009_6/10_1限	2026/06/10	1		講義	32番教室	60
ユニット	硬組織疾患、保存修復の種類、材料の一般的性質、硬組織疾患の処置					
サブユニット	問題演習(6月4日、5日の講義内容)					
授業目標	問題演習により知識を整理する。					
キーワード	問題演習					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-2,A-3-4-3,D-3-2-1,D-3-2-5,D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修8-イ-a,必修8-キ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅵ-1-ア-a,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅱ-1-イ-b,各論Ⅱ-1-オ-b,各論Ⅰ-2-ウ-a,各論Ⅰ-2-ウ-b,各論Ⅰ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_010_6/10_2限	2026/06/10	2		講義	32番教室	60
ユニット	切削、窩洞					
サブユニット	硬組織の切削					
授業目標	1) 手用切削器具を説明できる。 2) 回転切削器械を説明できる。 3) レーザーを説明できる。 4) エアブレイジブを説明できる。 5) 音波切削を説明できる。 6) 化学的溶解法を説明できる。					
キーワード	手用切削器具、回転切削器械、回転切削器具、レーザー、エアブレイジブ、音波切削、化学的(薬液)溶解					
担当	飯塚 純子					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P98-110 配布プリント
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-6
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-ア-d,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_011_6/10_3限	2026/06/10	3		講義	32番教室	60
ユニット	切削、窩洞					
サブユニット	窩洞					
授業目標	1) 窩洞の分類を説明できる。 2) 窩洞の構成と各部分の名称を説明できる。 3) 接着性・非接着性修復の窩洞を説明できる。					
キーワード	窩洞の分類、窩洞の構成・名称					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P110-114 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-ア-d,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_012_6/10_4限	2026/06/10	4		講義	32番教室	60
ユニット	切削、窩洞					
サブユニット	窩洞					
授業目標	1) 窩洞に具備すべき諸条件を説明できる。					
キーワード	窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P114~122 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-ア-d,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_013_6/11_1限	2026/06/11	1		講義	32番教室	60
ユニット	修復治療の留意点					
サブユニット	修復治療の留意点					
授業目標	1) 象牙質・歯髄複合体の保護を説明できる。 2) 修復治療の前準備・補助法を説明できる。 3) 修復物の具備すべき形状と面の性質を説明できる。					
キーワード	歯髄傷害、裏層、覆髄、IPC、					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P122-128 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O3202_014_6/11_2限	2026/06/11	2		講義	32番教室	60
ユニット	修復治療の留意点					
サブユニット	修復治療の留意点					
授業目標	1) 象牙質・歯髄複合体の保護を説明できる。 2) 修復治療の前準備・補助法を説明できる。 3) 修復物の具備すべき形状と面の性質を説明できる。					
キーワード	防湿、歯間分離、歯肉排除、隔壁法、除痛法、歯冠形態					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P129-140 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_015_6/11_3限	2026/06/11	3		講義	32番教室	60
ユニット	修復治療の留意点					
サブユニット	修復治療の留意点					
授業目標	1) 象牙質・歯髄複合体の保護を説明できる。 2) 修復治療の前準備・補助法を説明できる。 3) 修復物の具備すべき形状と面の性質を説明できる。					
キーワード	防湿、歯間分離、歯肉排除、隔壁法、除痛法、歯冠形態					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P129-140 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_016_6/11_4限	2026/06/11	4		講義	32番教室	60
ユニット	切削、窩洞、修復治療の留意点					
サブユニット	問題演習(6月10日、17日の講義内容)					
授業目標	問題演習により知識を整理する。					
キーワード	問題演習					
担当	飯塚 純子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-6,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-ア-d,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-c,各論Ⅱ-1-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_017_6/16_1限	2026/06/16	1		講義	32番教室	60
ユニット	コンポジットレジン修復					
サブユニット	コンポジットレジン接着システム					
授業目標	1) コンポジットレジン接着システムを説明できる。					
キーワード	エナメル質への接着、エッチング					
担当	向井 義晴					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P141-145 配布プリント
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-2-ア-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_018_6/16_2限	2026/06/16	2		講義	32番教室	60
ユニット	コンポジットレジン修復					
サブユニット	コンポジットレジン接着システム					
授業目標	1) コンポジットレジン接着システムを説明できる					
キーワード	象牙質への接着					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P141-145 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_019_6/16_3限	2026/06/16	3		講義	32番教室	60
ユニット	コンポジットレジン修復					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) コンポジットレジン修復の特徴を説明できる。 2) コンポジットレジン修復の手順を説明できる。					
キーワード	コンポジットレジンの特徴、組成、種類、修復手順、研磨					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P147-170 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_020_6/16_4限	2026/06/16	4		講義	32番教室	60
ユニット	コンポジットレジン修復					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) コンポジットレジン修復の特徴を説明できる。 2) コンポジットレジン修復の手順を説明できる。					
キーワード	コンポジットレジンの特徴、組成、種類、修復手順、研磨(即日研磨、24時間後、ホワイトポイント、スーパーファインダイヤモンドポイント、、コンポマスター、研磨用ストリップス、ジスク、注水下)					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P162-170 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O3202_021.6/17_1限	2026/06/17	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	硬組織疾患の処置、切削					
サブユニット	齲蝕の処置					
授業目標	1) デンタルボックスの内容を理解する。 2) 不潔域、清潔域の区別、および実習機を正しく使用できる。 3) 齲蝕検知液について理解する。 4) 齲蝕の除去が説明できる。 5) 間接覆髄法が説明できる。					
キーワード	感染象牙質、齲蝕検知液、スプーンエキスカベーター、覆髄、裏層					
担当	青木 香,飯塚 純子,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 感染歯質の識別と除去					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修8-イ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅶ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_022.6/17_2限	2026/06/17	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	硬組織疾患の処置、切削					
サブユニット	齲蝕の処置					
授業目標	1) 齲蝕検知液について理解する。 2) 齲蝕の除去が説明できる。 3) 間接覆髄法が説明できる。 4) 裏層が説明できる。					
キーワード	感染象牙質、齲蝕検知液、スプーンエキスカベーター、覆髄、裏層					
担当	青木 香,飯塚 純子,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修8-イ-a,必修9-オ-a,総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-ア,総論Ⅶ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_023.6/17_3限	2026/06/17	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) コンポジットレジンを充填できる。 2) コンポジットレジンを研磨できる。					
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅶ-5-ア-a,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅶ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_024.6/17_4限	2026/06/17	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					

授業目標	1) コンポジットレジンを充填できる。 2) コンポジットレジンを研磨できる。
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅶ-5-ア-a,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_025.6/23.1限	2026/06/23	1		講義	32番教室	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	問題演習(6月18日の講義内容)					
授業目標	問題演習により知識を整理する。					
キーワード	問題演習					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅶ-5-ア-a,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-8-ウ-b,総論Ⅶ-2-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_026.6/23.2限	2026/06/23	2		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	メタルインレー					
授業目標	1) メタルインレー修復の特徴を説明できる。					
キーワード	金属の種類、修復手順、窩洞、印象、咬合採得、模型、ワックスアップ、埋没、鑄造、鑄造収縮、鑄造欠陥、研磨、合着					
担当	國松 雄一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P192-207 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-c,必修11-セ-d,総論Ⅶ-3-ア-a,総論Ⅶ-3-ア-b,総論Ⅶ-3-ア-c,総論Ⅶ-3-イ-a,総論Ⅶ-3-イ-b,総論Ⅶ-3-イ-c,総論Ⅶ-3-イ-d,総論Ⅶ-3-イ,総論Ⅶ-3-オ,総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅶ-9-イ,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_027.6/23.3限	2026/06/23	3		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	メタルインレー					
授業目標	1) メタルインレー修復の特徴を説明できる。					
キーワード	金属の種類、修復手順、窩洞、印象、咬合採得、模型、ワックスアップ、埋没、鑄造、鑄造収縮、鑄造欠陥、研磨、合着					
担当	國松 雄一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P192-207 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3					

国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-c,必修11-セ-d,総論Ⅶ-3-ア-a,総論Ⅶ-3-ア-b,総論Ⅶ-3-ア-c,総論Ⅶ-3-イ-a,総論Ⅶ-3-イ-b,総論Ⅶ-3-イ-c,総論Ⅶ-3-イ-d,総論Ⅶ-3-イ,総論Ⅶ-3-オ,総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅶ-9-イ,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-ア-e,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b
--------------	---

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_028.6/23_4限	2026/06/23	4		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	コンポジットレジンインレー・セラミックインレー					
授業目標	1) コンポジットレジンインレー修復の特徴を説明できる。 2) セラミックインレー修復の特徴を説明できる。					
キーワード	窩洞の特徴、修復手順、レジンコーティング					
担当	日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P192-193, 207-216 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-6,D-5-2-1-7					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-c,必修11-セ-d,総論Ⅶ-3-ア-a,総論Ⅶ-3-ア-b,総論Ⅶ-3-ア-c,総論Ⅶ-3-イ-a,総論Ⅶ-3-イ-b,総論Ⅶ-3-イ-c,総論Ⅶ-3-イ-d,総論Ⅶ-3-イ,総論Ⅶ-3-オ,総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅶ-9-イ,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-ア-e,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_029.6/24_1限	2026/06/24	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) コンポジットレジンを充填できる。 2) コンポジットレジンを研磨できる。					
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅶ-5-ア-a,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_030.6/24_2限	2026/06/24	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) リング状リテーナーとセクショナルマトリックスを用いた隔壁法ができる。					
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅶ-5-ア-a,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c,総論Ⅶ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O3202_031_6/24_3限	2026/06/24	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	メタルインレー修復					
授業目標	1) メタルインレー窩洞(1級)が形成できる					
キーワード	メタルインレー、窩洞形成					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_032_6/24_4限	2026/06/24	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	メタルインレー修復					
授業目標	1) メタルインレー窩洞(2級スライス式)が形成できる。					
キーワード	メタルインレー、窩洞形成					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_033_6/30_1限	2026/06/30	1		講義	32番教室	60
ユニット	ガラスアイオノマーセメント					
サブユニット	ガラスアイオノマーセメントの接着					
授業目標	1) ガラスアイオノマーセメントの接着について説明できる。					
キーワード	従来型ガラスアイオノマーセメント、レジン添加型ガラスアイオノマーセメント					
担当	小倉 真奈					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P145-147 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-2-3,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_034_6/30_2限	2026/06/30	2		講義	32番教室	60
ユニット	ガラスアイオノマーセメント					
サブユニット	充填用ガラスアイオノマーセメント					
授業目標	1) 充填用ガラスアイオノマーセメントの特徴について説明できる。					
キーワード	従来型ガラスアイオノマーセメント、レジン添加型ガラスアイオノマーセメント					
担当	小倉 真奈					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P170-177 配布プリント					

授業目標	1) レジンインレー窩洞が形成できる。
キーワード	レジンインレー、窩洞形成
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-d,総論Ⅷ-9-ア-a,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_039_7/1_3限	2026/07/01	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	印象採得					
サブユニット	印象採得					
授業目標	1) シリコン印象材にて印象採得ができる。					
キーワード	シリコン印象、アルギン酸印象					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-c,必修11-セ-d,総論Ⅷ-3-イ-a,総論Ⅷ-3-イ-b,総論Ⅷ-3-イ-c,総論Ⅷ-3-イ-d,総論Ⅷ-3-イ,総論Ⅷ-3-オ,総論Ⅷ-9-ア-a,総論Ⅷ-9-イ,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_040_7/1_4限	2026/07/01	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	グラスアイオノマーセメント					
サブユニット	グラスアイオノマーセメント					
授業目標	1) コンポジットレジンを充填できる。 2) コンポジットレジンを研磨できる。 3) グラスアイオノマーセメントの充填・研磨ができる。					
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_041_7/7_1限	2026/07/07	1		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復、コンポジットレジン					
サブユニット	補修修復、CAD/CAM					
授業目標	1) 補修修復、CAD/CAM法を説明できる。					
キーワード	被着面処理、補修修復、CAD/CAM修復					
担当	日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P241-248, 216-224 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3,D-5-2-1-6					

国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-8-ウ-a,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-8-ウ-c,総論Ⅷ-2-ア-e,総論Ⅷ-7-イ-a,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-e
--------------	--

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_042_7/7_2限	2026/07/07	2		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復、コンポジットレジン					
サブユニット	ベニア					
授業目標	1) ベニアを説明できる。					
キーワード	被着面処理、直接法(レジンダイレクトベニア修復)、間接法					
担当	日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P224-231 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-ウ-a,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-8-ウ-c,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_043_7/7_3限	2026/07/07	3		講義	32番教室	60
ユニット	変色歯の処置					
サブユニット	変色歯の処置					
授業目標	1) 変色の原因、治療法を説明できる。					
キーワード	有髄歯の漂白、無髄歯の漂白、ホームブリーチ法、オフィスブリーチ法、ウォーキングブリーチ法、歯のマニキュア、ラミネートベニア、歯冠修復、漂白用薬剤、漂白のメカニズム、不快症状、外部吸収、後戻り					
担当	國松 雄一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P85-90 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ウ-a,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-8-ウ-c,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-e,各論Ⅱ-1-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_044_7/7_4限	2026/07/07	4		講義	32番教室	60
ユニット	間接修復、コンポジットレジン、変色歯の処置					
サブユニット	問題演習(7月8日の講義内容、および第118回国家試験保存修復問題解説)					
授業目標	問題演習により知識を整理する。					
キーワード	問題演習					
担当	國松 雄一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教1 P85-90, P216-248 配布プリント					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-2-3,D-5-2-1-1,D-5-2-1-3,D-5-2-1-5					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ウ-a,総論Ⅷ-8-ウ-b,総論Ⅷ-8-ウ-c,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-e,各論Ⅱ-1-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_045_7/8_1限	2026/07/08	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					

授業目標	1) コンポジットレジンを充填できる。 2) コンポジットレジンを研磨できる。
キーワード	コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨
担当	青木 香,飯塚 純子,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_046_7/8_2限	2026/07/08	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	コンポジットレジン					
サブユニット	コンポジットレジン					
授業目標	1) トッフルマイヤーのリテーナーとマトリックスバンドを用いた隔壁法ができる。					
キーワード	コンポジットレジン修復における隔壁法					
担当	青木 香,飯塚 純子,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-e,必修11-セ-h,総論Ⅷ-5-ア-a,総論Ⅷ-8-ア,総論Ⅷ-8-イ-a,総論Ⅷ-8-イ-b,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_047_7/8_3限	2026/07/08	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	窩洞形成、印象採得					
授業目標	1) メタルインレー窩洞が形成できる。 2) シリコン印象材にて印象採得ができる。					
キーワード	メタルインレー窩洞形成、印象採得					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成、成形充填窩洞形成および填塞練習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-3,D-5-2-1-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-b,必修11-セ-b,必修11-セ-c,総論Ⅷ-3-イ-a,総論Ⅷ-3-イ-c,総論Ⅷ-3-イ,総論Ⅷ-2-ア-b,総論Ⅷ-2-ア-c,総論Ⅷ-2-イ,総論Ⅷ-2-ア-a,各論Ⅱ-1-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O3202_048_7/8_4限	2026/07/08	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	間接修復					
サブユニット	窩洞形成、印象採得試験					
授業目標	1) 窩洞形成、印象採得試験 2) 未完了の実習内容を終了させる 3) 製作物を提出する。					
キーワード	メタルインレー窩洞形成、印象採得、コンポジットレジン、光重合、接着システム、研磨					
担当	青木 香,荻原 崇,小倉 真奈,乙幡 勇介,亀山 祐佳,國松 雄一,小浦 裕菜,駒田 朋昭,椎谷 亨,菅原 剛志,城村 綾香,須藤 昌也,芹田 枝里,千 生倫,武村 幸彦,長尾 大輔,日高 恒輝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教2 鑄造修復窩洞形成、成形充填窩洞形成および填塞練習					

コアカリ(令和4年)	D-5-2-1-1,D-5-2-1-3,D-5-2-1-6
国試出題基準(令和5年)	必修II-ケ-b,必修II-セ-b,必修II-セ-c,総論VIII-3-イ-a,総論VIII-3-イ-c,総論VIII-3-エ,総論VIII-2-ア-b,総論VIII-2-ア-c,総論VIII-2-イ,総論VIII-2-ア-a,各論II-1-ウ-b